



ニュー さざんか

発行 吉川町文化協会

事務局:吉川町公民館内
三木市吉川町吉安 246 番地
TEL0794-72-1577

令和5年度 文化協会活動

今年の文化協会は、計画しておりました文化祭への参加、文協展、カラオケまつりなど実施することが出来ました。

今後も文化薫る町の代表として活動を継続いたします。そして発表会には、皆様のご参加・ご来場よろしくお願いたします。一緒に活動し、吉川の文化を楽しみましょう。



吉川町文化祭

令和5年11月11・12日開催



文協展

令和6年2月1日から18日開催



カラオケまつり

令和6年2月10日開催



～サークル訪問記～

<和気あいあいの書道サークル> 記：ニューさざんか編集委員 藤田 均

令和6年1月12日に書道サークルを訪問しました。

公民館3階の講義室に行ってみると、和気あいあいの和やかな雰囲気でした。安藤先生はサークルの人達の書を見て、「納まりすぎたらあかんで、ここはもっと大きく筆の運びはこうやで」と丁寧に教えておられました。

「楽しく書くことが出来る事を大切にしたい、そのお手伝いできて嬉しい」と話されました。



今回の訪問では、サークルの皆さんに「書道」への思いを伺いましたが、「墨の匂いが落ち着く」「思うように書けた時が嬉しい」「友達ができた」「集中力が高まった」「ボケ防止になる」、などの思いを聞きました。

とにかく楽しくやっておられます。先生がどんな書体でもこなされるので、

「どんな感じで書きたいの」との問いかけに、「この書体でこの字が書きたい」と

言うと、先生がすぐ手本を書かれ、「ここが大事やで」との声に「わかりました」の返事がある。楽しい時間が過ぎるサークルでした。

肩の張らない和やかな雰囲気で初心者でも、入りやすいと思います。

活動は、毎月第2金曜日、午前10時から。場所は吉川町公民館。男性の方も大募集です。

<こころゆたかに一かがやきの絵手紙サークル>

記：ニューさざんか編集委員 西原 和孝

令和6年2月10日、絵手紙サークルにお邪魔しました。

和やかな雰囲気が漂っていました。皆さんが揃われますと、新井先生のあいさつがあり、皆さんの机を順番に回られます。一人ひとり丁寧に「ここはこういう風に」、と教えながら、手本を描いていかれます。題材は、行事や花など旬のものをちょっと先取りしたものです。先生は、すらすらと描かれ、

その筆先は魔法のようでした。皆さんは、それを手本に描かれます。皆さんの作品も素晴らしいものでした。「どこに行っても、物や景色など注意して観るようになった」「四季を楽しめる」「新しい友達もできた」「先生の絵を見ているだけで楽しい」「身の回りを絵にできる」などなど、楽しいことだらけのようです。



また、コンクールに出展したり、描いたものを友人や孫などに贈るのも楽しみの一つです。

絵の上達はもちろんですが、人と心、自然との優しい触れ合いも絵手紙の魅力のひとつです。

活動は、毎月第2土曜日、午後2時から。場所は吉川町公民館。初心者大歓迎。

<花いっぱいフラワーアレンジメントわたぼうし>

記：ニューさざんか編集委員 藤田 均

令和6年1月27日にフラワーアレンジメントサークル「わたぼうし」を訪問しました。公民館1階の多目的室にて行われていました。

和やかな雰囲気、当日に取り組む花模様があり、先生より「ここの感じは、ここをこうして」と初めに指導がある。その他は当日の見本の写真絵を見ながら自分の感覚で花が



生けられて行く。皆さんご自身の都合の良い時間でこられており、全員が一斉にはなくバラバラ2～3名程が取り組まれていた。楽しい笑い声があり進んで行く。先生は、生徒からの「この感じはどうするの」との声に、「この花やからこんな感じかな」とアドバイスに「解った」との声で進んで行く。そこで解ったことは、同じ花でも太さや枝が異なり出来上がりがすべて違う



という事がわかった。福井先生は、「とにかく楽しく自分感覚で好きにやってほしい」と言われる。

皆さんは、「花のある生活は楽しい」「季節により花が変わるのが楽しい」と、「自分にとって癒しの時間」「次にどんな花に出会えるが楽しみ」と、先生の優しい指導により毎回のサークルを楽しみにされている。仕上げ間近になると先生より、「触ってもいい、ここをもうちょっとこうしましょうか」と指導がある、「わあようになった」と嬉しい声のでる。そして、家に持ち帰って家族でも楽しまれている。男性もどうぞと勧められました。活動は、毎月2～3回土曜日、午後1時から。場所は吉川町公民館。

第24回三木市俳句まつり開催される

3月2日(土)、第24回三木市俳句まつりが吉川町公民館で開催されました。

「大人から子供まで俳句を通じて情操と感性を育み交流を図る」ことを目的としています。

当日は、午前10時から吟行、午後から、事前応募句、吟行(当日)句の入賞句の発表・表彰が行われました。

吟行は、今年は、丹波篠山市の丹波焼の里でした。

大変寒くて、時折吹雪に見舞われましたが、俳句を作るものにとっては、申し分のない天気だったようです。



事前応募句は、一般の部は314句、小中学生の部は、三木市内の小中学校から838句が集まり、大賞である三木市長賞に、一般の部は、「余り苗葬りの風に吹かれけり」大久保和恵(神戸市)さん、小中学生の部は、「空がもう体育祭を待っている」前川夢空(別所中1年)さんの句が輝きました。また、吟行(当日)句は、78句の投句があり、久保昭(神戸市)さんの「春の雪陶片は地に還る色」が、大賞である三木市長賞に選ばれました。

令和5年度 吉川町文化協会加盟団体一覧表

No.	団体名	活動内容	活動日	会員数
1	松若流 寿希恵会	新舞踊	第1・3火曜	4
2	青柳流詩舞	詩舞	第1・2・3金曜	4
3	吉川音楽団	楽器演奏	毎週金曜	3
4	らくらくピアノ教室	ピアノ	第1・3月曜	5
5	吉川白萩俳句会	俳句	第2土曜	12
6	斧俳句会	俳句	第4金曜	7
7	書道サークル	書道	第2金曜	13
8	絵手紙サークル	絵手紙	第2土曜	14
9	吉川町茶道協会	茶道	随時	7
10	みよし茶道サークル	茶道	火曜・随時	5
11	囲碁サークル	囲碁	毎週木曜	8
12	よかわ歴史サークル	町内歴史調査研究他	第3木曜	25
13	フォトみのう	写真	第3土曜	10
14	吉川陶芸サークル	陶芸	第2月曜・第4日曜	10
15	吉川音頭踊り保存会	音頭保存	第1土曜	9
16	フラワーサークルわたぼうし	フラワーアレンジメント他	月2、3回土曜	16

吉川町文化協会は創立三十二周年を迎え、現在十六の団体、会員数は延べ百五十二名により各分野で活動しています。この機会に皆さんも文化協会加盟の団体に参加し、いっしょに楽しみましょう。お待ちしております。

お問合せは吉川町公民館まで 電話(72)1577

【ご案内】

『思い立ったが吉日』

〇〇をやってみよう。〇〇を学んでみたい。そう言いながら、ぐずぐずしているうちに日が経って、かれこれ三年。いや五年。「もう少し若かったらなあ・・・」なんて言っている人はいませんか？

『これからの人生の中で今日が一番若い。』いつの頃からか、この言葉をよく耳にするようになりました。なるほど、その通りだなあと素直に思います。だから、何かを始めるには遅すぎることはなく、今日が最適なのだと、私は思うようにしています。

現在、吉川町文化協会の参加団体は16団体。気になるサークルはありませんか？入会希望や新団体立ち上げのご相談は、吉川町文化協会までお声を掛けてください。

新しいことに挑戦したいと思う好奇心や、もっと上達したいと願う向上心が日々を彩り、この町の文化を作っていくのではないのでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております。

令和六年四月吉日

ニューさざんか編集委員 西 優子